

2-47

社會諸問題に對し 準備を怠る勿れ

現代の日本を見つめて



秩父宮様の御演説

「東京二十日電」秩父宮殿下は二十日午後七時、皇居で演説をなさる。殿下は演説で、我が國の前途は明るいものであると述べ、國民の団結を促す。また、海外の情勢についても言及し、我が國の立場を明らかにした。殿下の演説は、國民の心を大いに鼓舞した。

南方三軍が結束し 一舉京津を衝かん

徐州以南に山東軍なく

北伐軍更に振はん

馮玉祥軍 新郷に進出す

武裝衝突を畫定す

閻錫山軍 娘子關に出動

奉軍の背後を狙ふ

張作相氏を 第五軍長に任命

吳俊陞氏と共に

關内外の防備に當る

張作相氏を 第五軍長に任命

吳俊陞氏と共に

關内外の防備に當る

馮玉祥軍 新郷に進出す

武裝衝突を畫定す

閻錫山軍 娘子關に出動

奉軍の背後を狙ふ

國際經濟會議 第一信 乾みね子

「東京二十日電」國際經濟會議の第一信は、乾みね子氏が執筆した。この信は、世界經濟の現状と今後の展望について詳しく分析している。特に、戰後の經濟復興と國際貿易の重要性を強調している。信の最後には、各國の協力による平和と繁栄の達成を願っている。

奉天の損害 五千名

進入以來退却する

山海關の險に 守備を固くす

奉天派子郎黨で

河南に敗れて 學良氏追放さる

新人派漸く凋落し

南北の妥協は 當分實現すまい

松井奉天顧問語る

財政方針には 何等變りはない

三土新蔵相語る

馮蔣兩氏の提携で 黎元洪氏の擁立を計畫

北京の一番乗りは馮氏か

赤化撲滅の 共同戦線を張る

英國と張作霖間に

今後の方針は 何れ協議の上で

根本策は變らぬ

馮玉祥軍 新郷に進出す

武裝衝突を畫定す

閻錫山軍 娘子關に出動

奉軍の背後を狙ふ

張作相氏を 第五軍長に任命

吳俊陞氏と共に

關内外の防備に當る

國際經濟會議 第一信 乾みね子

「東京二十日電」國際經濟會議の第一信は、乾みね子氏が執筆した。この信は、世界經濟の現状と今後の展望について詳しく分析している。特に、戰後の經濟復興と國際貿易の重要性を強調している。信の最後には、各國の協力による平和と繁栄の達成を願っている。

奉天の損害 五千名

進入以來退却する

山海關の險に 守備を固くす

奉天派子郎黨で

河南に敗れて 學良氏追放さる

新人派漸く凋落し

南北の妥協は 當分實現すまい

松井奉天顧問語る

財政方針には 何等變りはない

三土新蔵相語る

馮蔣兩氏の提携で 黎元洪氏の擁立を計畫

北京の一番乗りは馮氏か

赤化撲滅の 共同戦線を張る

英國と張作霖間に

今後の方針は 何れ協議の上で

根本策は變らぬ

馮玉祥軍 新郷に進出す

武裝衝突を畫定す

閻錫山軍 娘子關に出動

奉軍の背後を狙ふ

馮蔣兩氏の提携で 黎元洪氏の擁立を計畫

北京の一番乗りは馮氏か

赤化撲滅の 共同戦線を張る

英國と張作霖間に

今後の方針は 何れ協議の上で

根本策は變らぬ

馮玉祥軍 新郷に進出す

武裝衝突を畫定す

閻錫山軍 娘子關に出動

奉軍の背後を狙ふ

張作相氏を 第五軍長に任命

吳俊陞氏と共に

關内外の防備に當る

國際經濟會議 第一信 乾みね子

「東京二十日電」國際經濟會議の第一信は、乾みね子氏が執筆した。この信は、世界經濟の現状と今後の展望について詳しく分析している。特に、戰後の經濟復興と國際貿易の重要性を強調している。信の最後には、各國の協力による平和と繁栄の達成を願っている。

奉天の損害 五千名

進入以來退却する

山海關の險に 守備を固くす

奉天派子郎黨で

河南に敗れて 學良氏追放さる

新人派漸く凋落し

南北の妥協は 當分實現すまい

松井奉天顧問語る

財政方針には 何等變りはない

三土新蔵相語る

馮蔣兩氏の提携で 黎元洪氏の擁立を計畫

北京の一番乗りは馮氏か

赤化撲滅の 共同戦線を張る

英國と張作霖間に

今後の方針は 何れ協議の上で

根本策は變らぬ

馮玉祥軍 新郷に進出す

武裝衝突を畫定す

閻錫山軍 娘子關に出動

奉軍の背後を狙ふ

張作相氏を 第五軍長に任命

吳俊陞氏と共に

關内外の防備に當る

國際經濟會議 第一信 乾みね子

「東京二十日電」國際經濟會議の第一信は、乾みね子氏が執筆した。この信は、世界經濟の現状と今後の展望について詳しく分析している。特に、戰後の經濟復興と國際貿易の重要性を強調している。信の最後には、各國の協力による平和と繁栄の達成を願っている。

奉天の損害 五千名

進入以來退却する

山海關の險に 守備を固くす

奉天派子郎黨で

河南に敗れて 學良氏追放さる

馮蔣兩氏の提携で 黎元洪氏の擁立を計畫

北京の一番乗りは馮氏か

赤化撲滅の 共同戦線を張る

英國と張作霖間に

今後の方針は 何れ協議の上で

根本策は變らぬ

馮玉祥軍 新郷に進出す

武裝衝突を畫定す

閻錫山軍 娘子關に出動

奉軍の背後を狙ふ

張作相氏を 第五軍長に任命

吳俊陞氏と共に

關内外の防備に當る

國際經濟會議 第一信 乾みね子

「東京二十日電」國際經濟會議の第一信は、乾みね子氏が執筆した。この信は、世界經濟の現状と今後の展望について詳しく分析している。特に、戰後の經濟復興と國際貿易の重要性を強調している。信の最後には、各國の協力による平和と繁栄の達成を願っている。

奉天の損害 五千名

進入以來退却する

山海關の險に 守備を固くす

奉天派子郎黨で

河南に敗れて 學良氏追放さる

新人派漸く凋落し

南北の妥協は 當分實現すまい

松井奉天顧問語る

財政方針には 何等變りはない

三土新蔵相語る

馮蔣兩氏の提携で 黎元洪氏の擁立を計畫

北京の一番乗りは馮氏か

赤化撲滅の 共同戦線を張る

英國と張作霖間に

今後の方針は 何れ協議の上で

根本策は變らぬ

馮玉祥軍 新郷に進出す

武裝衝突を畫定す

閻錫山軍 娘子關に出動

奉軍の背後を狙ふ

張作相氏を 第五軍長に任命

吳俊陞氏と共に

關内外の防備に當る

國際經濟會議 第一信 乾みね子

「東京二十日電」國際經濟會議の第一信は、乾みね子氏が執筆した。この信は、世界經濟の現状と今後の展望について詳しく分析している。特に、戰後の經濟復興と國際貿易の重要性を強調している。信の最後には、各國の協力による平和と繁栄の達成を願っている。

奉天の損害 五千名

進入以來退却する

山海關の險に 守備を固くす

奉天派子郎黨で

河南に敗れて 學良氏追放さる

馮蔣兩氏の提携で 黎元洪氏の擁立を計畫

北京の一番乗りは馮氏か

赤化撲滅の 共同戦線を張る

英國と張作霖間に

今後の方針は 何れ協議の上で

根本策は變らぬ

馮玉祥軍 新郷に進出す

武裝衝突を畫定す

閻錫山軍 娘子關に出動

奉軍の背後を狙ふ

張作相氏を 第五軍長に任命

吳俊陞氏と共に

關内外の防備に當る

國際經濟會議 第一信 乾みね子

「東京二十日電」國際經濟會議の第一信は、乾みね子氏が執筆した。この信は、世界經濟の現状と今後の展望について詳しく分析している。特に、戰後の經濟復興と國際貿易の重要性を強調している。信の最後には、各國の協力による平和と繁栄の達成を願っている。

奉天の損害 五千名

進入以來退却する

山海關の險に 守備を固くす

奉天派子郎黨で

河南に敗れて 學良氏追放さる

新人派漸く凋落し

南北の妥協は 當分實現すまい

松井奉天顧問語る

財政方針には 何等變りはない

三土新蔵相語る

馮蔣兩氏の提携で 黎元洪氏の擁立を計畫

北京の一番乗りは馮氏か

赤化撲滅の 共同戦線を張る

英國と張作霖間に

今後の方針は 何れ協議の上で

根本策は變らぬ

馮玉祥軍 新郷に進出す

武裝衝突を畫定す

閻錫山軍 娘子關に出動

奉軍の背後を狙ふ

張作相氏を 第五軍長に任命

吳俊陞氏と共に

關内外の防備に當る

國際經濟會議 第一信 乾みね子

「東京二十日電」國際經濟會議の第一信は、乾みね子氏が執筆した。この信は、世界經濟の現状と今後の展望について詳しく分析している。特に、戰後の經濟復興と國際貿易の重要性を強調している。信の最後には、各國の協力による平和と繁栄の達成を願っている。

奉天の損害 五千名

進入以來退却する

山海關の險に 守備を固くす

奉天派子郎黨で

河南に敗れて 學良氏追放さる

馮蔣兩氏の提携で 黎元洪氏の擁立を計畫

北京の一番乗りは馮氏か

赤化撲滅の 共同戦線を張る

英國と張作霖間に

今後の方針は 何れ協議の上で

根本策は變らぬ

馮玉祥軍 新郷に進出す

武裝衝突を畫定す

閻錫山軍 娘子關に出動

奉軍の背後を狙ふ

張作相氏を 第五軍長に任命

吳俊陞氏と共に

關内外の防備に當る

國際經濟會議 第一信 乾みね子

「東京二十日電」國際經濟會議の第一信は、乾みね子氏が執筆した。この信は、世界經濟の現状と今後の展望について詳しく分析している。特に、戰後の經濟復興と國際貿易の重要性を強調している。信の最後には、各國の協力による平和と繁栄の達成を願っている。

奉天の損害 五千名

進入以來退却する

山海關の險に 守備を固くす

奉天派子郎黨で

河南に敗れて 學良氏追放さる

新人派漸く凋落し

南北の妥協は 當分實現すまい

松井奉天顧問語る

財政方針には 何等變りはない

三土新蔵相語る

馮蔣兩氏の提携で 黎元洪氏の擁立を計畫

北京の一番乗りは馮氏か

赤化撲滅の 共同戦線を張る

英國と張作霖間に

今後の方針は 何れ協議の上で

根本策は變らぬ

馮玉祥軍 新郷に進出す

武裝衝突を畫定す

閻錫山軍 娘子關に出動

奉軍の背後を狙ふ

張作相氏を 第五軍長に任命

吳俊陞氏と共に

關内外の防備に當る

國際經濟會議 第一信 乾みね子

「東京二十日電」國際經濟會議の第一信は、乾みね子氏が執筆した。この信は、世界經濟の現状と今後の展望について詳しく分析している。特に、戰後の經濟復興と國際貿易の重要性を強調している。信の最後には、各國の協力による平和と繁栄の達成を願っている。

奉天の損害 五千名

進入以來退却する

山海關の險に 守備を固くす

奉天派子郎黨で

河南に敗れて 學良氏追放さる

馮蔣兩氏の提携で 黎元洪氏の擁立を計畫

北京の一番乗りは馮氏か

赤化撲滅の 共同戦線を張る

英國と張作霖間に

今後の方針は 何れ協議の上で

根本策は變らぬ

馮玉祥軍 新郷に進出す

武裝衝突を畫定す

閻錫山軍 娘子關に出動

奉軍の背後を狙ふ


張作相氏を 第五軍長に任命

吳俊陞氏と共に

關内外の防備に當る

國際經濟會議 第一信 乾みね子

「東京二十



國際都市としての大新義州

加藤鐵次郎氏談

大新義州は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

「大新義州は、かつては小さな村であったが、現在は国際都市として発展している。これは、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

「大新義州は、かつては小さな村であったが、現在は国際都市として発展している。これは、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

三波浪頭

三波浪頭

三波浪頭は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

商租問題

商租問題は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

警察署對抗

警察署對抗は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

武道大會

武道大會は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

美江開港

美江開港は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

平安北道

平安北道は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

春蠶立数

春蠶立数は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

忠清南道

忠清南道は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

鐵道事故頻發

鐵道事故頻發は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

大田日新會

大田日新會は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

武德館落成式

武德館落成式は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

黃海道

黃海道は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

初百廿石を

初百廿石をは、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

元山開港

元山開港は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

念事業

念事業は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

至急電話中込超過

至急電話中込超過は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

沙里院神社

沙里院神社は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

世話人覺醒

世話人覺醒は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

元山不開港

元山不開港は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

長津に水電

長津に水電

長津に水電は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

思案投げ首

思案投げ首は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

貿易

貿易は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

元山不開港

元山不開港は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

麻雀が流行

麻雀が流行は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

德源の養蠶

德源の養蠶は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

市川松蔭

市川松蔭は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。



市川松蔭は、朝鮮半島の東部に位置する重要な都市である。加藤鐵次郎氏は、この都市の発展と国際化について、以下のように述べている。

染料卸商 東洋

東京 丸の内 丸の内線 丸の内駅 丸の内線 丸の内駅

感冒、神経痛

ミツワ解熱錠

成分：アセチルサリチル酸、カフェイン

効力：解熱、鎮痛、鎮静

朝夕の優る

百薬に優る

味の素

高橋

高橋商店

味の素

味の素

日本児童文庫 太陽の如く輝く

申込は即刻

第一回配本

全國湧き
かへる此
の大盛況
の第一期
第一期製
本出来拾
萬部將に
盡きんご
す御申込
は寸刻を
争ひます

豫約出版
の例を
破り締切
に先ち二
十八日よ
り申込順
に依て全
國へ配本
を開始し
ています

本日×切

第一回の配本は日本児童文藝の王座を占むる次の二名著です。これこそ我が日本児童文庫のみが有する誇であります。

児童劇集

坪内逍遙博士著

日本童話集

小川未明先生著

輝くばかりの内容。目のさめる様な装幀。美しい原色版の口絵。豊富な挿畫。驚くべき廉價。早く實物を御覽下さい。

堂々たる教育的方針を以て立てる本文庫は現代各方面の權威三十三博士五十餘大家の執筆に成り第二の國定教科書として推賞せらる。

申込は直ぐ 近所の書店へ

豫約略規

全七十巻・毎月二冊刊行
別巻自習辭典及び毎月一回
発行の學習新聞は無代進呈
申込金壹圓(最後の會費に
充當)毎月會費壹圓。一時拂
全額參拾貳圓(申込金不要
に割引す。外に送料を要す。
書店に不便な方は直接アル
スへ御申込下さい。

東京市小學校百四十四校の校長は本文庫の刊行を賛助された。教育界の輿論は既に確定した。見よ權威と信頼に燃ゆる日本児童文庫！

電話小石川 三八四
〇七五三
三八四
振替東京 二四八八

スルア

東京 小石川表町

